

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

道政報告で、思い語る

晴天の中、「青空の集い」開催！

素晴らしい天気

昨年「青空の集い」雨。今年打って変わって素晴らしいお天気に恵まれた7月11日に開催、名実ともに「青空の集い」となりました。

今年の集いには、士別市内はもちろん、管内各地から多くの皆さんにお越しいただき、多めに準備したシンガスカンを追加するほどの大盛況となりました。冒頭、小書勝太郎連合後援



青空の集いで道政報告する北口雄幸道議(7月11日)

安心社会つくる

その後、道北歌謡研究会の皆様から素敵な花束をいただき、北口道議からの道政報告では、今春の道議選でのお礼と保健福祉委員長就任を報告し、「保福委員長として地域医療と障がい者対策を進め、安心して暮らせる社会をつくりたい。また、

会長からご挨拶。その後来賓を代表して、牧野勇司士別市長、佐々木隆博代議士から激励の挨拶をいただき、岸純太郎上川総合振興局副局長から知事のメッセージを代読していただきました。

北口ゆうこう道議と語る「新春の集い」のご案内

道政報告「北口ゆうこう道議と語る新春の集い」を下記のとおり開催いたします。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

記

とき：2016年1月16日(土)
17時30分より

ところ：士別グランドホテル

会費：2,500円

主催：北口ゆうこう連合後援会

【会券のお求め先】

北口事務所(東7条9丁目)

電話0165-22-3100

FAX0165-23-4356



国民健康保険事業の道移管についてしっかりとした仕組みを作る。」などをお話しし、国の動きではTPPや安全保障法案に対する懸念を訴えられました。

その後、各テーブルをまわりながら懇親を深め、それぞれの皆さんのお話をお伺

い、地域課題等についても懇談させていただきました。結びは、山居忠彰北海道農民連盟書記長の音頭で締めてください、集いを終えたところです。この間、準備を進めていただいた後援会や連合の皆様にも、心からお礼を申し上げます。



第二回定例道議会報告(9月8日~10月2日)

道議会でも数の暴力

安保意見書すべて否決

安倍政権は、安全保障関連法案の審議、採決を衆議院、参議院で相次ぎ強行しました。我が会派では会期中中の9月15日に「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」、会期末の10月2日に「9月19日未明に成立した安全保障関連法採決に抗

農政副会長に就任

10月1日、超党派で組織する農政議員連盟が設立され、北口雄幸道議は副会長に就任しました。また、会長には自民党会派の本間勲氏(上川地域)、幹事長には中司哲雄氏(根室地域)が選出されました。

議連設立と同時に、課題の多い農協法及び農業委員会法の改正内容についても研修を行いました。



左から中司幹事長、北口副会長、本間会長

議する決議」をそれぞれ提案しましたが、いずれも自民・公明会派の反対で否決されました。

私たちは、多くの国民の反対、懸念の声を押し切り成立した法の廃止に向け、今後もしっかりと取り組んで行かなければなりません。

国いなのりの知事姿勢

TPP交渉、人口減少対

策・地方創生関連施策、国土形成計画の前倒し改定に伴う「新たな北海道総合開発計画」の前倒しでの見直しなど、安倍政権の未成熟な施策の連発によって、道庁や市町村行政はその対応に追われています。しかし、地方の実態を知らずとしない知事は、(こう)した施策に唯々諾々(い)い(だ)く(だ)くと従うばかりで、相も変わらず、道民や市町村の意志をまとめて国にも申す姿勢は示していません。

自ら閉鎖したシンガポールの北海道事務所を再開することを決めたり、道分の合計特殊出生率が2030年に1.80、2040年には2.07まで上昇することを諸計画策定のベースにしたりと、道政の乱暴な手法も相次いでいます。

揺らぐ安全安心基盤

安全、安心な暮らしの基盤が揺らいでいます。少子対策といえながら、地域で子どもを産み育てることが

困難になっています。生徒の数の減少を理由に高校が地域から消えていきます。新幹線がやっとやってきませんが、代償のようにローカル線での合理化が再び加速しています。地域で暮らし続けるための議論をしっかりと進める必要があります。

依然と厳しい道財政

6千600万円。これで、27年度予算は、一般会計2兆8千83億円、特別会計6千415億円の合計3兆4千498億円となりました。

26年度の道一般会計決算は、形式収支で33億5千800万円、実質収支で27億8千500万円の赤字となりました。地方公共団体財政健全化法に基づく健全化判断比率は、実質公債費比率が20.8%、将来負担比率が317.4%となおも厳しい状況が続きます。

第3回定例会で可決された補正予算

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
既決予算額	2,802,127,714	641,512,610	3,443,640,324
今回補正額	6,191,303	66,263	6,257,566
合計	2,808,319,017	641,578,873	3,449,897,890

補正予算は、道投資単独事業費48億円など一般会計61億9千100万円、特別会計

採択された決議・意見書

●子ども医療費助成の制度化を求める意見書 ●「患者申出療養」の適切な運用を求める意見書 ●私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書 ●北方領土の解決促進等に関する意見書

※民主体派として、「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」、「9月19日未明に成立した安全保障関連法採決に抗議する決議」を提案しましたが、自民及び公明会派の反対で否決されました。

写真で振り返る北口道議の活動記録(7月~9月)



旭川市議とスエデンヒルズを視察(7月13日)



剣淵農連と道農政部が意見交換(7月2日)



林活事務局長として林野庁長官に要請(7月24日)



村木厚生労働省事務次官に要請(7月23日)

ささ隆博衆議院議員と語る夕べの集い
北口ゆうこう道議会議員



和寒町での国政道政報告会(8月7日)



「戦争をさせない土別市民集会」を開催(8月3日)



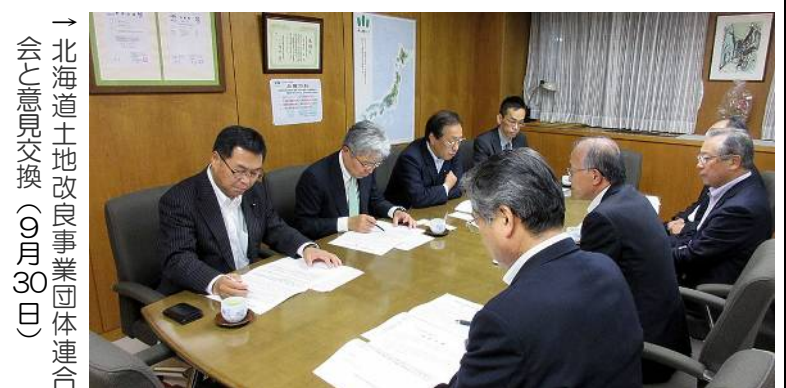
幌加内町の新そば祭りではほろみんと(8月29日)



朝日町の豪雨被害地域を調査(8月13日)



←きたごりんファームでの稲刈り&はさかけ作業(9月19日)



→北海道土地改良事業団体連合会と意見交換(9月30日)

北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(7月～9月分)

◆7月4日【ふれあい広場】

▼今年で32回目となる「ふれあい広場2015 in しべつP ART 32」のメインステージの背景画は「さほつちファミリー」で、土別南小学校6年の木島小雪さんが原画を制作した。また、福祉標語では、畑美幸さんの作品である「差しのべる その手の先に おもいやり」が最優秀を獲得し、今年のメイ



開会式では手話で自己紹介

ンスローガンになった。また、開会式では、手話で自己紹介を行い、道が制定を予定している手話条例についてお話ししたところだ。

◆7月28日【TPP緊急集会】



ふれあい広場の開会式で挨拶

▼今日は、全上川農民連盟(河合満執行委員長)主催の「TPP合意断固阻止! 7・28全上川緊急集会」が開催された▼農家の皆さんにとっては、この時期秋まき小麦の収穫時期という繁忙期にもかかわらず、ハワイにおいてTPP閣僚会議が開催されるこの時期を捉え、緊急集会が開催されたのだ。今日の集会には、各地区農民連盟のほか連合北海道の組合員も参加し、約350

名でTPP合意断固反対を訴えたところだ。

◆8月15日【全国戦没者追悼式】

▼全国戦没者追悼式は、天皇皇后両陛下のご臨席をいただきながら、全国から約7千名の皆さんが参加して開催された。今年の特徴は、不戦の誓いを後世に引き継ぐべく、すべての都道府県から18歳未満の若い世代が参列したことだ。また、天皇陛下からは、「ここに過去を顧み、さきの大戦に対する深い反省と共に、今後、戦争の惨禍が再び繰り返されぬことを切に願い、全国民と共に、戦陣に散り、戦禍に倒れた人々に対し、心からなる追悼の意を表し、



全国戦没者追悼式に参列



国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑に参拝

世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります」と、深い反省の言葉と不戦の誓いが述べられた。一方、安倍総理からは、「戦後70年にあたり、戦争の惨禍を決して繰り返さない、そして、今を生きる世代、明日を生きる世代のために、国の未来を切り拓いていく、そのことをお誓いいたします」と不戦の誓いは述べられたものの、反省の言葉は今年も聞くことができなかったところだ▼今年初めて、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑と全国戦没者追悼式に参列し、改めて先の大戦がなぜ起こったのか、なぜ戦争を止めることができなかったのか、などを考

え、310万人ともいわれる戦争で犠牲になったすべての皆様へ、「二度とこのような過ちは繰り返さない」との不戦の誓いをしたところだ。

【KUSUJUN】

▼「お茶を濁す」という諺がある。「いいかげんな、その場しのぎで、ごまかしたり、取り繕うこと」だそうだ▼国会会で可決した「安全保障法案」は、まさしく、嘘ごまかして成立させた法案だ▼当初、安倍総理は、日本人母子の写真掲げ、「この日本人が乗った米軍艦を守る」と言ったが、「日本人の乗船がなくても警護する」となった。また、ホルムズ海峡の機雷除去は、「想定していない」との答弁に変わった。さらに、参議院の特別委員会採決では、地方公聴会の報告も総括質疑もせず、だまし討ちのように強行採決した▼このように、ごまかし、嘘を重ね、ネタラメで成立した法律は無効である。これから、法律の専門家も違憲訴訟を展開するだろう。私たちは、この法案を骨抜きにし、廃案を求める運動を展開しなければならぬ。未来の子や孫たちのためにも…。(ゆうこう)